

「十二単は現代の日常着!？」

国宝源氏物語絵巻「竹河」巻の世界を
姫君、女房、公達が華麗に表現



源氏物語絵巻 竹河(二)絵 徳川美術館所蔵 ©徳川美術館イメージアーカイブ/DNPartcom

物語で紡ぐ宮廷装束 —平安から鎌倉へ—

- 第一部 学習院女子大学衣紋道さくら会による着装披露
- 第二部 畠山大二郎氏による国宝源氏物語絵巻「竹河」巻の再現
- 第三部 平安時代、鎌倉時代の文学作品における
装束表現についてのシンポジウム

(登壇者) 畠山大二郎氏(愛知文教大学)、春日美穂(学習院女子大学)、土屋有里子(学習院女子大学)

[日時]——— 令和7(2025)年12月20日(土)
13:30~17:30(予定)(開場13:10)

[場所]——— 学習院女子大学やわらぎホール
東京都新宿区戸山3-20-1

[アクセス]——— 東京メトロ副都心線「西早稲田」駅下車、3番エレベーター口 徒歩1分
東京メトロ東西線「早稲田」駅下車、徒歩10分
JR山手線・西武新宿線「高田馬場」駅下車、徒歩15分

[申し込み方法]—— 右よりお申し込みください。事前申し込みのない方の参加はできません。
申し込みが定員に達し次第締め切ります。入場料無料。

[登壇者]———



畠山大二郎氏

愛知文教大学准教授。博士(文学)。
『源氏物語』を中心とした平安文学の表現から当時の衣生活や認識を考察し、
平安装束の復元も裁縫から試みている。東京キモノショーでも活躍中。



衣紋道さくら会

高倉流の御宗家から承認されており、
学習院女子大学有職故実の講師である永井とも子氏の指導の下、
十二単(正式名称:五衣唐衣裳)の着装のお稽古を行う。
学内イベントだけではなく、国連大学で行われた東京オリンピックに向けた
イベントでも着装披露を行うなど、国内外に活躍の幅を広げている。



▼申し込み・問い合わせ



学習院女子大学
Gakushuin Women's College

本シンポジウムは学習院女子大学特別研究費の助成を受けています。
内容は変更される可能性があります。